

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 「高齢者、障害者等が円滑に旅行できる環境の整備に関する
条例(仮称)(骨子案)」

意見募集期間 : 令和4年12月16日(金)～令和5年1月6日(金)

意見等の提出件数 : 20件(6名)

県の考え方の表記について :

【意見を反映】…意見等を反映したもの(2件)

【対応済み】…意見等の内容が既に記載されているもの、条例に記載はないが
県の施策で対応しているもの(一部対応済み含む) (4件)

【今後の取組の参考】…今後、ユニバーサルツーリズム施策を推進する上で参考とするもの(14件)

【対応困難】…対応が困難なもの(0件)

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
1	第1条 定義	運送事業者とあるが、私鉄・JRなど公共交通機関との連携がないのはなぜか。無人駅やエレベーターがない駅からタクシー乗り場への移動介助が必要なのではないか。	1	<p>【意見を反映】</p> <p>「運送事業者」の文言には私鉄やJR等の鉄道事業者も含まれています。対象が分かりにくかったため、第1条(2)ウにおいて鉄道事業者(鉄道事業法第2条第1項に規定する鉄道事業を営む者)を例示として明記しました。</p> <p>駅からタクシー乗り場への移動介助については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	第2条 基本理念	「行きたいところに旅行できる」との表現が幾度も出てくるので、その具体的な内容が想定できるといい。少しでも具体性が伴うといい条例になると感じた。	1	<p>【意見を反映】</p> <p>「行きたいところに旅行できる」の具体的な内容が想定できるよう、基本理念の表現を「希望する目的地、交通手段、施設、体験活動等を自由に選択できる」に修正しました。</p>
3	第5条 観光関連事業者の役割	宿泊施設のユニバーサルマナー研修を実施可能機関に依頼し、年1回の実施を義務づけてはどうか。	1	<p>【一部対応済み】</p> <p>第5条において、宿泊施設をはじめとする観光関連事業者に対して高齢者、障害者等の受入体制の充実に努めるよう呼びかけています。また、第12条(人材の育成)において、高齢者・障害者等への接遇の向上に向けたユニバー</p>

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
				サルツーリズムおもてなし研修など、人材育成に必要な施策を講ずることを規定しています。ご意見を踏まえ、引き続き受入体制の充実を図ります。
4	第9条 観光関連事業者及び支援団体等相互の連携	食事処や宿泊施設と福祉事業者（訪問介護、福祉用具販売・レンタル業者等）の連携を検討してはどうか。	1	<p>【今後の取組の参考】</p> <p>第9条において、観光関連事業者や支援団体等の連絡体制の整備や協議の場の設置等を行い、ユニバーサルツーリズム推進のネットワーク化に取り組むこととしています。</p> <p>福祉事業者との連携についても、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
5	第10条 観光関連事業者に対する支援	移動が困難な障害者でも、まずは点から点へ移動しやすいよう、スロープや休憩用のイス・ベンチ、障害者用のトイレの整備などを盛り込み、「行きたいところへ旅行できる」だけでなく、点から面へと「旅行を楽しめる」具体的な内容を盛り込むよう要望する。	1	<p>【今後の取組の参考】</p> <p>福祉のまちづくり条例に基づきバリアフリー化を進めるとともに、第10条により受入体制の充実のために必要な支援を行うことで、安全で快適な旅行を楽しむことができるよう、高齢者、障害者等が円滑に旅行することができる環境の整備を進めていきます。</p>
6		宿泊施設のバリアフリー補助を行う方針なのか。また、ヘルパーを同行させるのか。	1	<p>【一部対応済み】</p> <p>第10条において、観光関連事業者に対して受入体制の充実のために必要な支援を行うこととしています。</p> <p>令和5年度予算案では、ユニバーサルツーリズムに積極的に取り組もうとする宿泊施設に対して、貸出用品の購入等のソフト対策経費とバリアフリー化等のハード整備経費を支援する制度の運用を開始する予定です。</p> <p>ヘルパーを同行させる旅行の受入については、引き続き観光関連事業者等への協力を呼びかけていきます。</p>

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
7	第12条 人材の育成	宿泊施設の従業員を増やし、介護の研修等を行い、金銭補助等を行う方針なのか。	1	<p>【一部対応済み】</p> <p>第12条において、高齢者、障害者等に対する接遇の向上による受入体制の充実を図る研修の実施をはじめとする人材育成に取り組むこととしています。</p> <p>また令和5年度予算案における宿泊施設に対するソフト対策経費への支援では、従業員の接遇資格取得受講費も補助対象とする予定です。</p>
8	第13条 相談員	バリアフリー観光、宿、食事処、買い物処のUT情報案内相談窓口、ステーションを設置してはどうか。	1	<p>【今後の取組の参考】</p> <p>第13条において、ユニバーサルツーリズムに関する相談・助言等を行う相談員（ユニバーサルツーリズムコンシェルジュ）を養成することとしています。いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
9	その他	UDタクシーの車体は高価だという認識があるようだが、比較的導入しやすい車種もあると聞くので、助成等により兵庫県内での普及に努めるべき。同時にUDバスの導入もさらに進めるべき。	1	<p>【一部対応済み】</p> <p>福祉のまちづくり基本方針において、令和7年度までに福祉タクシー2000台増、乗合バスに対するノンステップバス導入率80%を目標とし、ノンステップバスの車両購入費を補助する等、タクシーやバスのバリアフリー化を進めています。</p>
10	その他	兵庫県から発着する関空、伊丹空港バスをUD化してはどうか。	1	<p>【今後の取組の参考】</p> <p>ユニバーサルツーリズムの推進には目的地に着くまでの移動手段の確保も重要です。いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
11	その他	特に観光地におけるユニバーサルトイレ、どこでもトイレ、トイレ設置場所情報を地図化、音声情報化し、配布場所を公表してはどうか。	1	<p>【今後の取組の参考】</p> <p>兵庫県公式観光サイトにおいて、一部地域のユニバーサルマップを公開しています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
12	その他	県経営者協会、商工会などに、傘下の小売事業者への合理的配慮（スロープ設置、筆談ボード設置、心のバリアフリー等）の呼びかけを依頼してはどうか。例えば、西宮市が実施している「あいサポート運動」を実施し、障害者への理解を深める研修を定期的に受けてもらう等。	1	【今後の取組の参考】 いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
13	その他	観光地において、UT 有償ヘルパー、有償ボランティア、ステーション（相談窓口）を設置してはどうか。	1	【今後の取組の参考】 いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
14	その他	観光地において、アクセスマット、ヒップキャンプ、JINRIKI、車椅子等の福祉用品の無償レンタルを行ってはどうか。	1	【今後の取組の参考】 いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
15	その他	各市町村の社会福祉協議会に意見を募ってみるのもいい。	1	【今後の取組の参考】 いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
16	その他	人材育成、サービス提供、情報提供とあるが、現状、JR・私鉄沿線の無人駅等へ職員を派遣し、移動介助を行う方針なのか。	1	【今後の取組の参考】 ご提案の内容について、今のところ制度化等の予定はありませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。
17	その他	高齢者、障害者等の介護タクシー利用料金や盲人の方のガイドヘルパー利用料金の補助等を行う方針なのか。	1	【今後の取組の参考】 ご提案の内容について、今のところ制度化等の予定はありませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。
18	その他	家族や友達と一緒に旅行を楽しむとのことだが、高齢者、障害者等のマイカーの改造費補助を行う方針なのか。	1	【今後の取組の参考】 ご提案の内容について、今のところ制度化等の予定はありませんが、今後の取組の参考とさせていただきます。
19	その他	ユニバーサルツーリズムが条例化されることに感銘した。出身地である新温泉町が全国に先駆けてユニバーサルツーリズムに取り組む福祉の町となるため、「みんなで湯村（湯村温泉）を楽しむため	1	【今後の取組の参考】 本条例では、県内市町や観光関連事業者等と連携しながら、高齢者、障害者等が円滑に旅行することができる環境の整備を進めていくこととしています。

番号	項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
		に、あったらいいな！を創り出す」プロジェクトを新温泉町に提案したい。観光客増、地域活性化、雇用創出、人口流出食い止めに繋がると確信している。		いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
20	その他	<p>全盲となり絶望を感じていたときに希望を与えてくれたのが旅行だった。条例の検討に心より喜びを感じている。</p> <p>末端神経症があるため点字が読めないが、一人で旅行する際は旅先の人とのコミュニケーションで解決している。当事者にも言えることだが、宿泊施設等の方の「コミュニケーションの向上」は欠かせない要素だと感じている。</p> <p>生きる希望を失っている人たちに、旅行によって生きる希望を感じてもらうには、「ハード」から濁点を取って「ハート」も大切だと思うので、ハードの充実だけでなく、その点も条例に組み込んでいただけると幸いである。</p>	1	<p>【今後の取組の参考】</p> <p>福祉のまちづくり条例に基づきバリアフリー化等のハード整備を進めるとともに、本条例では人材育成や普及啓発、情報提供などバリアを人の手等でカバーするソフト対策を中心に取り組んでいくこととしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>